

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

多可町長

市町村名 (市町村コード)	兵庫県多可郡多可町 (283657)	
地域名 (地域内農業集落名)	加美区 (棚釜集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月29日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は傾斜のある山間地に位置した小さな集落ではあるが、約97%の農地で水稻を作付し、コシヒカリや近隣牧場と飼料用米の契約栽培を行っている。農家の年齢構成は40代から60代が中心で比較的若く、それぞれが営農組合の活動に協力することで地域全体の農地を守っている。しかしながら傾斜地に農地が多いため畦畔法面の草刈り作業に労力がかかることが課題である。あわせて各農家が所有する農業機械の更新が大きな課題となっている。

【基礎データ】

- ・農家軒数 8軒 うち集落営農1組織
- ・主な作物 水稻(うるち米)、飼料用米、自家野菜

(2) 地域における農業の将来の在り方

引き続き千ヶ峰からの清冽な水を活かしたコシヒカリを作付し、販路の模索、安定した販売先を確保することで持続的な農業経営を行う。営農組合が作付けする飼料用米については、近隣の牧場から生産されるメタン発酵消化液を有機質資材として肥料活用し、流し込み散布することで経費削減、省力化、耕畜連携を図る。

農地については当面の間、現在の耕作者による農業経営を継続するが、もし農業経営が困難になった場合は営農組合を中心に農地の集積を図る。そのほか農用地法面については傾斜地に位置するためラジコン草刈り機等スマート農業機械の導入を今後検討する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	11.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	11.4 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0.0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・現段階では所有者、耕作者の意向もあるが、今後必要に応じて集積・集約化を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・必要に応じて活用していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・各種交付金を活用して農業用施設の修繕を計画的に実施していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・関係機関と連携し、移住者や新規就農者等を積極的に受け入れていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針
・民間企業のドローン防除の実施。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①交付金を活用して獣害防止柵の点検、早期修繕を継続して実施する。
 ②⑨近隣牧場から発生するメタン発酵消化液を活用し、有機質資材の使用および耕畜連携を継続する。
 ⑦農業用施設の維持管理についてはこれまで通り各種交付金を活用して実施する。